

## 環境経済部長の仕事宣言！ 進行管理表①

環境経済部長 立石 利治

[リープロ名称] 活力とにぎわいのあるまちプロジェクト  
 [目標値] 給食における地元産品率の向上 54.5%、認定農業者数 68 経営体、家族経営協定割合の向上 35%  
 (リープロの概要) 地元農産物の地産地消や大規模消費地(福岡市)の拡大などを図ります。また、鳥栖市の経済活力を高めるため新たな企業誘致に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	地元農産物の消費拡大として、飲食店と協賛し食べ歩きフェアや米米コンテスト等の取り組みを行った。また、新産業集積エリア整備事業関係では、地域住民の一定の理解を得ることが出来、用地取得に向けた事業同意取得を進めている。
	自己評価	相手がある事業であり、地道な積み重ねの結果一定の結果がみられる。
	下半期への対応	地元農産物の消費拡大に向けた取組を今後も継続していきたい。また、新産業集積エリア整備事業は、年度内の事業同意取得と工事発注を目指して取組を進めたい。
下半期	取組実績	下半期の取組として、マコモタケの食べ歩きフェアや市内小学校において農業生産者による交流会を開催した。新産業集積エリアの事業同意取得は数名の同意を得る事が出来ていない。
	自己評価	消費拡大に向けた食べ歩きや交流会などを実施することが出来た。事業同意取得は簡単に出来るものではない厳しい現状がある。
	目標値の達成状況	各取り組みを行うことにより地元産品の消費拡大が図れ、一定の成果があると考えます。
	次年度への対応	各取り組みを継続していくことで地産地消を進めたい。エリア事業は事業同意取得に向け全力で取り組みたい。

### 自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計
3	3	3	9

\* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

### 副市長の指示

- 上半期
- ・地産地消の取り組みについての実績を把握し、引き続き関係機関と連携を図りながら推進すること。
  - ・新産業集積エリア整備事業の着実な推進を図ること。
- 
- 下半期
- ・新産業集積エリア整備事業の事業同意を取得すること。

## 環境経済部長の仕事宣言！ 進行管理表②

環境経済部長 立石 利治

<p>[リープロ名称] 環境を守り、未来へつなぐプロジェクト</p> <p>[目標値] 市民1人1日当たりの資源物以外のごみの排出量 800g/人・日、</p> <p>(リープロの概要) 市民、事業者、行政が一体となり、ゴミの減量化・再利用・資源化に取り組めます。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	環境問題の出前講座開催や河川清掃活動・水生生物調査など環境に関係する取組を行うことが出来、多くの市民に対してごみの排出量抑制についてもPRを行った。
	自己評価	様々な事業により市民に対して環境関係の啓発が図られた。
	下半期への対応	下半期に取組む事業も控えていることから、これらを積極的に取組むことで、ごみの排出量を減少させたい。
下半期	取組実績	例年以上の出前講座開催が出来たことや基山町と連携した水生生物調査、資源回収などの各事業を行うことが出来た。
	自己評価	環境に関する各事業を計画的に出来、資源物回収では店頭や許可業者への搬入量が増加しており一定の成果があると考ええる。
	目標値の達成状況	各事業において目標値へ達していない事業もある。
	次年度への対応	資源物の店頭回収や許可業者回収の量を増加させ、ごみの排出量を抑制させたい。

### 自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計
3	3	3	9

\* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

### 副市長の指示

上半期  
ごみ排出量減少に向けて啓発の工夫などの対策を講じること。

下半期  
市民の皆さまのごみ問題への意識を高めるとともに、資源物の店頭回収など、市民の皆さまがごみの減量に取り組みやすい環境整備に努めること。